報告書抄録

ふりがな	たかまつづかこふんのちょうさ
書名	高松塚古墳の調査
副書名	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討のための平成16年度発掘調査報告
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	松村恵司・豊岡卓之・相原嘉之・内田和伸・渡部圭一郎・加藤雅士・竹本 晃・奥田 尚・寒川 旭・三村 衛・石崎武志
編集機関	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所
所在地	〒630-8577　奈良県奈良市二条町2丁目9番1号　Tel 0742-34-3931
発行者	独立行政法人 文化財研究所 奈良文化財研究所
所在地	〒630-8577　奈良県奈良市二条町2丁目9番1号　Tel 0742-34-3931
発行年月	2006年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
特別史跡（とくべつしせき） 高松塚古墳（たかまつづかこふん）	奈良県（ならけん） 高市郡（たかいちぐん） 明日香村（あすかむら） 大字平田（おおあざひらた） 字高松（あざたかまつ）	29402	17-A-169	34°27′44″ （世界測地系） 34°27′32″ （日本測地系）	135°48′22″ （世界測地系） 135°48′32″ （日本測地系）	2004.10.1 ～ 2005.3.31	656㎡	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討のための学術調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
特別史跡 高松塚古墳	古墳	飛鳥時代 ～ 中世	墳丘、周溝、 掘立柱建物、 土坑など	土師器、須恵器、 瓦器など	墳丘周囲を面的に調査し、周溝を検出したことにより、古墳の形態と規模が判明した。また後世の墳丘の開削や、地震による墳丘の損傷、古墳の埋没環境などが壁画の保存環境に悪影響を及ぼしている可能性が浮上した。版築層から出土した土器により、古墳の築造時期を推定する手がかりが得られた。